

WEBGATE

個人情報保護 映像マスキングソリューション



ユーザーマニュアル

製品バージョン v1.4.0以上

文書初版作成日 2026-07-16 v1.2.0改訂 2026-08-23 v1.4.0改訂 2026-09-29

作成 WEBGATE

目次

目次.....	2
1. 製品概要.....	3
2. インストールと初回起動.....	3
3. ログインとアカウント	4
3.1 パスワードを忘れた場合.....	5
4. 画面構成.....	6
5. 基本的な作業の流れ	7
5-1. WEBGATE・S-1 レコーダーのバックアップファイルを開く	8
6. AI自動検出	8
7. モザイク設定.....	9
8. 手動編集と補正.....	10
9. タイムライン・区間編集.....	10
10. 書き出し(Export)	11
10-1. バックアップファイル(.exe)で書き出し	12
11. プロジェクトの保存・読み込み	12
12. 体験版とライセンス	13
12-1. 自動アップデート確認.....	14
13. 言語設定	14
14. 管理者機能(アカウント・操作履歴).....	14
15. 推奨/最小動作環境.....	15
15-1 推奨仕様.....	15
15-2 最小仕様.....	16
15-3 処理時間の目安.....	16
16. トラブルシューティング	17
17. よくある質問(FAQ).....	18
18. 付録: 対応フォーマット・ショートカット	19
対応フォーマット	19
主なショートカット	19

1. 製品概要

Masking Studioは、映像内の個人情報(人物・顔)を自動/手動でモザイク処理するWindowsデスクトップアプリケーションです。CCTVバックアップ映像だけでなく、一般的な動画ファイルも同様に読み込んで処理できます。WEBGATE・S-1 レコーダー(NVR/DVR)のバックアップファイル(.exe/.re4)も直接読み込み、チャンネルごとにマスキングできます。

主な特長

- AI による自動検出(人物全身+顔)と手動編集を併用可能
- ピクセル化・ぼかし・単色などのマスキングフィルター、四角形/楕円形状に対応
- WEBGATE・S-1 レコーダーのバックアップファイル(.exe/.re4)の読み込み —
元の録画時刻を保ったまま編集し、バックアップファイル形式で書き出し(パスワード設定可)
- ログイン・書き出しなど主要な操作履歴を記録する「操作履歴」を内蔵
- ユーザーアカウントごとの権限管理(管理者/編集者)
- 完全オフライン動作(ネットワーク不要)、体験版/正式ライセンス体系

参考 現在のバージョンは車両ナンバープレートの自動検出には対応していません(専用モデル未確保のため対象外)。ナンバープレートは必要に応じて手動オブジェクト追加で隠すことができます。

2. インストールと初回起動

1. インストーラー MaskingStudio_Setup_v1.4.0_x64.exe を実行します。
2. インストールウィザードの案内に従ってインストール先を指定し、進めます。
3. インストール中のライセンス選択画面で、体験版の開始またはライセンスファイル(.lic)の登録を選択できます。
4. ファイルのコピー完了後にインストール ID(installation ID)が表示されます。正式ライセンス発行時に必要なので控えておいてください。
5. インストール完了後、デスクトップ/スタートメニューのアイコンから起動します。

参考 動作環境: Windows 10 64bit(1903以降)またはWindows 11 64bit(エディション不問)。詳細は第15章を参照。

参考 1台のPCにつき1つのみ実行されます: すでに実行中の状態でプログラムを再度起動すると、「すでに実行中です」という案内とともに2つ目の起動は自動的に終了します(同じWindowsアカウントだけでなく、別のアカウントでも同様に適用されます)。正常終了後に再度起動すれば問題なく起動しま

す。

3. ログインとアカウント

初回起動時にログイン画面が表示されます。

項目	初期値
ID	admin
パスワード	Admin@1234
表示名	Admin(管理者)



- ・ 初回ログイン後、ツール > 設定 > ユーザー管理でパスワードの変更を推奨します。
- ・ パスワードポリシー: 8 文字以上、かつ英字・数字・特殊文字を各 1 文字以上含むこと。

- ログインに 3 回連続で失敗すると 30 秒間再試行がブロックされます(プログラム再起動でリセット)。
- 権限:

管理者(admin) = すべての機能 + アカウント管理 + 操作履歴閲覧

編集者(editor) = 映像編集・書き出し・プロジェクト管理。

3.1 パスワードを忘れた場合

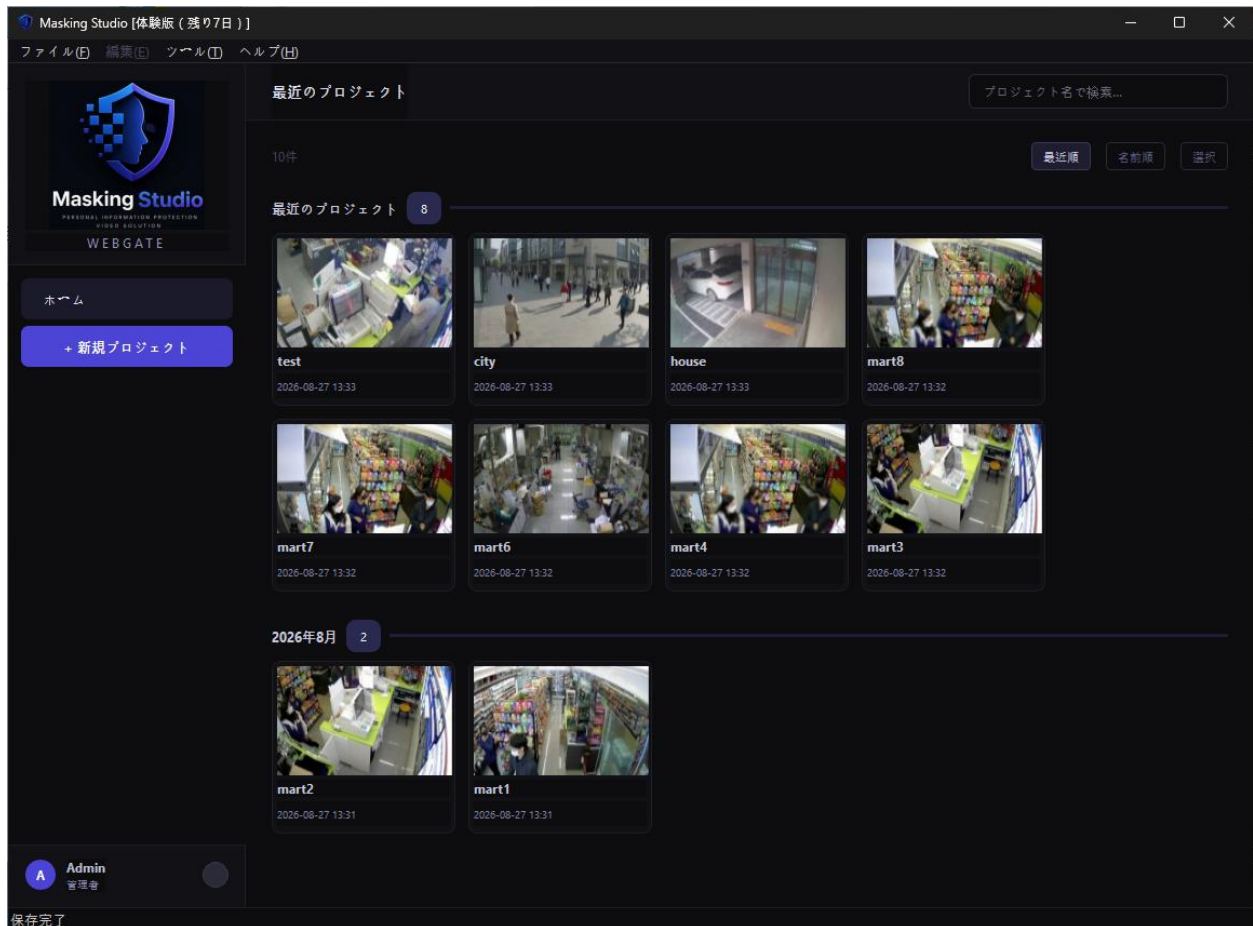
- 一般(編集者)アカウント: ログイン中の管理者が「ツール > 設定 > ユーザー管理」画面で該当アカウントの「パスワード変更」ボタンから、既存のパスワードを確認せずに新しいパスワードを設定してリセットできます。
- 管理者アカウント: 他のアクティブな管理者が同じ方法でリセットできます。
- 唯一の管理者アカウントを紛失した場合(リセットしてくれる他のアクティブな管理者がいない場合): ログイン画面下部の「管理者パスワードの初期化」リンクを利用してください。

/

- ① リンクをクリックすると表示されるインストール ID と初期化リクエストコード(APR-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX)を、「情報をコピー」または「テキストファイルとして保存」で WEBGATE のライセンス担当者に伝えます(電話・メールなど利用可能な方法で)。
- ② 担当者がライセンス発行システムから発行した初期化キー(文字列または.msrecover ファイル、24 時間以内有効)を受け取ったら、同じ画面の入力欄に貼り付けるか、ファイルから読み込んだ後「初期化実行」を押します。
- ③ キーが有効であれば、新しいパスワード設定画面に移動します(パスワードポリシーは同様に適用されます)。設定完了後、ログイン画面に戻り新しいパスワードでログインしてください。
- 初期化キーは 1 回のみ使用でき、「新しいリクエストコードを生成」を押すと、以前のコードで発行されたキーは無効になります(紛失した場合は再度リクエストして再発行するのが原則です)。
- キー検証に 5 回連続で失敗すると、ダイアログが閉じます(再度開いて再試行可能)。

- デフォルトの管理者パスワード(Admin@1234)に戻す一括初期化機能は提供していません(セキュリティポリシー)。

4. 画面構成



- ホーム画面:
最近のプロジェクト一覧(検索・最近順/名前順ソート)、「+新規プロジェクト」、「ファイルを開く」。



- 編集画面(プロジェクトを開くと切り替わります):
 - 中央: 映像プレビュー
 - 下部: タイムライン(分割/削除/初期化)、再生コントロール(前後のフレーム ◀|▶、0.5x / 1x / 2x)
 - 右側パネルタブ3つ: [AI 検出] / [モザイク] / [オブジェクト一覧] — [+ 手動オブジェクト追加]ボタンは[AI 検出]タブにあります
 - 上部メニュー: ファイル / 編集 / ツール / ヘルプ
 - タイトルバー: ライセンス状態を常時表示(例: [体験版 (D-7)]、[体験版期限切れ]、[未登録]; 正式登録時は非表示)

参考 メニューパスまとめ: 設定・ユーザー管理・操作履歴・言語設定はすべてツール > 設定(Ctrl+,) ダイアログのタブです。AI検出 = ツール > AI検出(F2)、書き出し = ツール > 書き出し(Ctrl+E)、ライセンス = ヘルプ > ライセンス。

5. 基本的な作業の流れ

ログイン → (体験版開始または正式登録) → 新規プロジェクト → 映像を開く → AI自動検出 → (必要に応じて既存オブジェクトを補正) → モザイク確認 → (正式ライセンス)書き出し → 結果ファイルを再生して確認

6. ログイン後、ホームで「+新規プロジェクト」→ 名前を入力 → プロジェクト作成。
7. 「ファイルを開く」、または再生領域へのドラッグ&ドロップで映像を読み込みます。
8. 編集画面で AI 検出・手動編集・モザイク設定を行います。
9. 書き出しで結果映像を生成し、再生して確認します。

参考 下部ステータスバーの「AI検出準備完了」の表示を確認してから検出を開始してください(AIモデルはログイン直後にバックグラウンドで読み込まれます)。

5-1. WEBGATE・S-1 レコーダーのバックアップファイルを開く

WEBGATE・S-1 レコーダー(NVR/DVR)でバックアップした .exe/.re4 ファイルを、通常の映像と同じく[ファイルを開く]またはドラッグ&ドロップで読み込みます。

- [チャンネル選択]ウィンドウでチャンネルを選び[このチャンネルを開く]を押すと、選んだチャンネルだけが編集画面に開きます(一度に 1 チャンネル)。元の画質のまま作業用ファイルに変換し、途中でキャンセルもできます。
- 検索欄の横のアイコンでリスト表示/グリッド表示を切り替え、チャンネル番号や名前で検索できます。録画のないチャンネルは薄く表示されます。
- パスワード付きのバックアップは[バックアップのパスワード]ウィンドウでパスワードを入力します。間違えた場合は再入力できます。パスワードはどこにも保存されないため、プロジェクトを開き直すときに再入力します。
- 時刻表示・再生・書き出しは元の録画時刻に従います(フレーム間隔が一定でない録画も元の時刻を保持)。960×1080(1080N)のチャンネルは 16:9 の比率で表示されます。
- プロジェクトには元のバックアップファイルの場所とチャンネルが保存されます。元のファイルを移動・変更すると、プロジェクトは復元されません。

6. AI 自動検出

右側の[AI検出]タブで実行します。

- 検出対象:
人物(全身)と顔を常に一緒に検出します。検出するクラスをユーザーが選択する機能はありません

ん —

特定のクラスのみ残したい場合は、検出後に[オブジェクト一覧]タブで個別のトラックを無効化してください。

- 信頼度(5段階):
広範囲(0.30)・低(0.45)・標準(0.55、初期値)・高(0.70)・精密(0.85)。値が低いほど多く検出されますが誤検出も増えます。
- 検出間隔:
N フレームごとに検出(間隔が小さいほど密になりますが、キーフレーム数・処理時間が増加します)。
- 検出方式: 新規検出(既存結果を初期化してから検出) / 既存に追加(累積検出)。
- [▶ AI 検出]をクリック → 進捗ダイアログが表示(途中で[■停止]可能) → 完了時にキーフレーム・トラックが自動生成されます。
- [全オブジェクト初期化]で自動・手動オブジェクトを一括削除できます。

参考 検出区間の制限: AI検出パネルに「開始~終了フレーム」を直接入力する欄はありません。不要な区間はタイムラインでクリップを切り取って削除すると、残った区間のみが検出対象になります(第9章参照)。

7. モザイク設定

右側の[モザイク]タブで設定します。

- モザイク有効化トグル:
オフにすると検出オブジェクトは表示のみされ、マスキングは適用されません。
- フィルター(3種): ピクセル化(Pixelate) / ぼかし(Blur) / 単色(黒塗り)。
- 形状: 四角形 / 楕円。
- 強度:
スライダーで調整します。絶対ピクセル値ではなく、ボックスの短辺に比例して自動でスケールリングされます。
- モード: 「検出オブジェクトのみモザイク」/「全体モザイク後に選択を解除」。
- [オブジェクト一覧]タブで個別トラックのマスキングをオン/オフできます。
- 映像上の人物を直接クリックしても、どちらのモードでもマスキングの適用・解除ができます。

- 個人情報保護のため、人物を隠したままその人物の顔だけを表示することはできません(人物を隠すとその顔も一緒に隠れます)。

8. 手動編集と補正

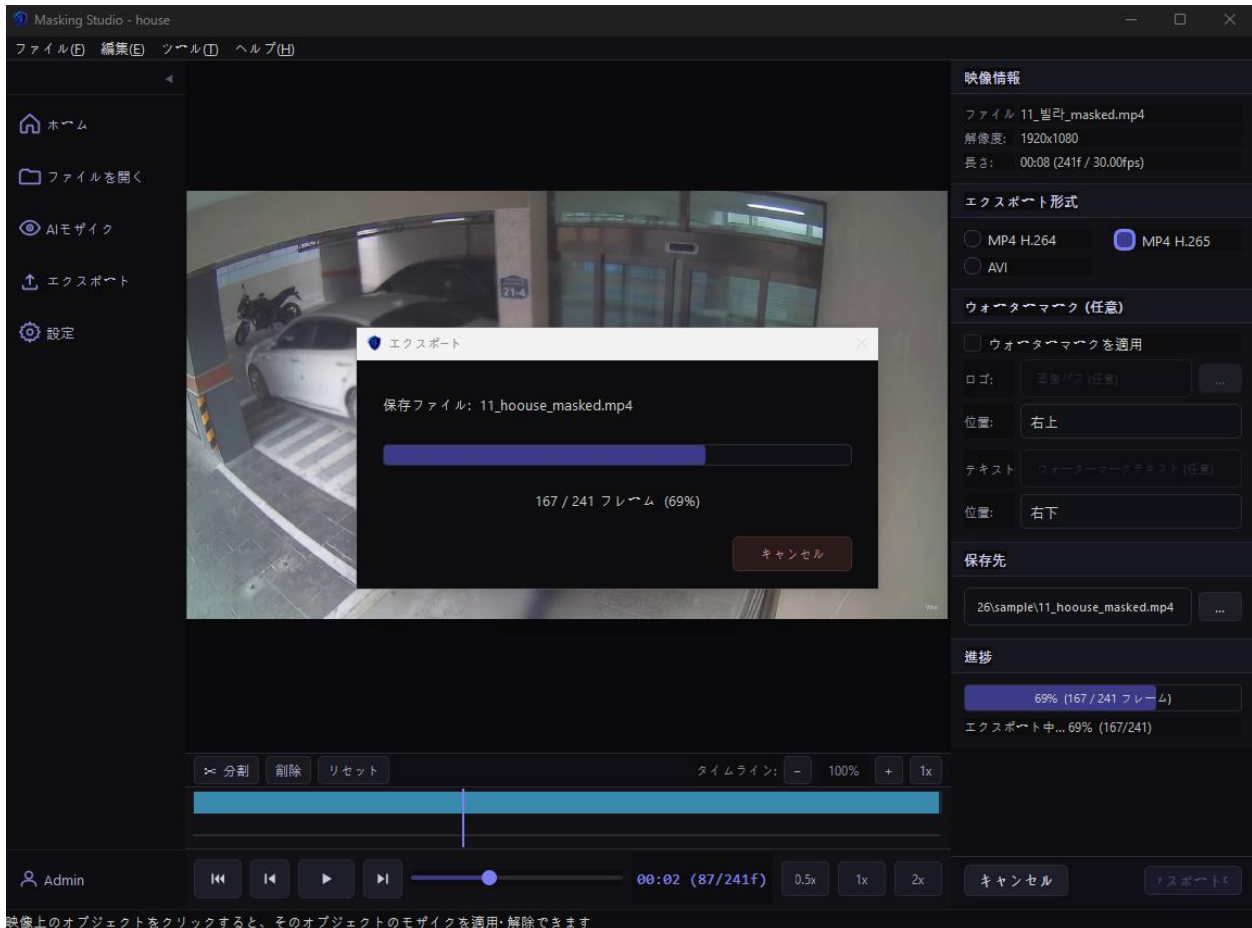
- 手動オブジェクト追加(正式ライセンス専用): [AI 検出]タブの[+ 手動オブジェクト追加]を押し、映像上をドラッグしてボックスを描きます。ボックスを描いたフレームからマスキングが始まります。
 - ボックスを描く、またはドラッグして移動すると、そのフレームに記録され自動的に次のフレームへ進みます。サイズ変更は同じフレームで何度も調整できるよう、その場にとどまります。
 - 画面下の ◀ / ▶ (または ← / → キー)で指定フレーム数ずつ移動するか、シークバー・タイムラインを先へ動かすと、その位置までマスキング範囲が伸びます(戻しても短くなりません)。
 - [確定]で保存、[キャンセル]で追加したオブジェクトを削除します。
 - 固定した領域を最後まで隠すには:
最初の場面でボックスを描き、シークバーを映像の最後へ動かして[確定]を押します。
- 体験版では、AI が検出した既存オブジェクトの選択・修正・削除が可能です。AI が見逃した区間に新しい手動オブジェクトを追加するには正式ライセンスが必要です。
- 完全手動キーフレーム編集(シーン移動)モード中は、再生ボタンと前後フレームボタンが無効化されます — 確定/キャンセルでモードを終了すると再度使用できます。

9. タイムライン・区間編集

- タイムラインで特定の時点に移動(シーク)し、フレーム単位で細かく移動できます。
- クリップ編集:
分割・削除・初期化(復元を含む)。不要な区間を切り取って削除すると、AI 検出・書き出しの対象から除外されます。
- 元に戻す/やり直し: Ctrl+Z / Ctrl+Y(最大 50 段階)。取り消しの対象はクリップ操作(分割・削除・初期化)に限定されます — 手動オブジェクト追加・モザイク設定変更・個別オブジェクト削除は現在取り消し対象ではありません。

- 大量のキーフレーム(数万~10万単位)がある長時間の映像でもタイムライン操作は維持されます。

10. 書き出し (Export)



サイドバー/ツール > 書き出し(Ctrl+E)パネルで実行します。

- 出力フォーマットの選択: MP4(H.264) / MP4(H.265) / AVI。WEBGATE・S-1
バックアップファイルを開いている場合は、[WEBGATE (.exe)]または[S-1
(.exe)]形式も選択できます(10-
1 参照)。ソースコーデックを検出し、出力フォーマットを自動的に提案します。
- 「参照」で保存先パス・ファイル名を指定します。
- パス選択ダイアログを閉じると、「このパスで書き出しますか?」という確認ポップアップが表示
されます(デフォルトははい)。はい=即座に開始 /
いいえ=パスのみ反映し、[書き出し]ボタンで手動開始。
- 既存ファイルとパスが同じ場合は上書き確認画面が表示されます。

15. 進捗が表示され、完了すると再生可能な結果ファイルが生成されます。

参考 書き出しパネルは繰り返しクリックしても消えません(AIモザイクパネルと排他的に切り替わります)。ウォーターマーク(ロゴ/文言)はユーザーがオン/オフを選択できる任意機能です。体験版では書き出しが制限されているため、結果ファイルを生成するには正式ライセンスの登録が必要です。ウォーターマークのロゴ画像が映像解像度より大きい場合、映像の横幅の1/6以下に自動縮小されます。元の映像に音声がある場合、結果映像にも音声が保持されます。

10-1. バックアップファイル(.exe)で書き出し

WEBGATE・S-1 バックアップファイルを開いているときだけ、書き出し形式に[WEBGATE (.exe)]または[S-1 (.exe)]が表示されます(元のレコーダー系統に合わせて表示)。

- ・ マスキングしたチャンネル1つが元のコーデック・画質・録画時刻・チャンネル名を保ったまま保存され、MiniPlayer 付きなのでダブルクリックですぐ再生できます。既定のファイル名は<元の名前>_CH<チャンネル>_masked.exe です。
- ・ [バックアップにパスワードを設定]をオンにすると、書き出し時に新しいパスワードを2回入力します(英数字・記号 1~16 文字。全角文字・空白はバックアップ再生ソフト MiniPlayer で入力できないため使用不可)。元のバックアップのパスワードは再利用しません。
- ・ 元が暗号化されたバックアップの場合、[バックアップにパスワードを設定]はオンの状態で始まります。パスワードなしで書き出すには手動でオフにしてください。
- ・ パスワード入力をキャンセルすると書き出しは始まりません(パスワードなしのファイルで代わりに保存することはありません)。
- ・ MP4/AVI で書き出す場合も、元の録画時刻に合わせて保存されます。

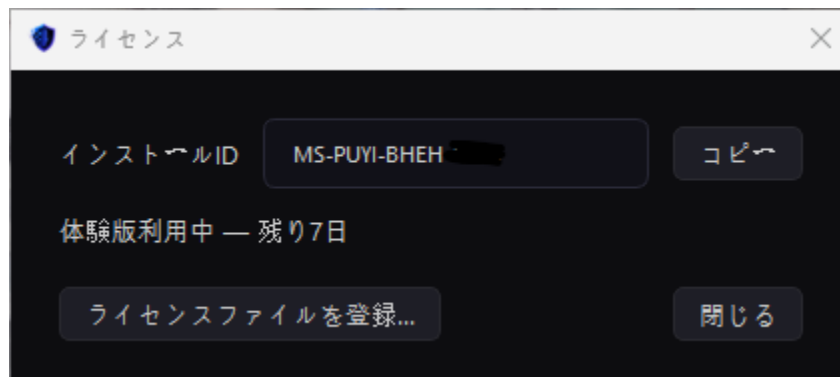
11. プロジェクトの保存・読み込み

- ・ 編集内容に変更があると画面に未保存マーク(*)が表示されます。ホームへの移動・ログアウト・プログラム終了時に、保存/破棄/キャンセルを選択するポップアップが表示されます — 「保存」は変更内容を反映し、「破棄」は最後に保存した状態に戻し、「キャンセル」は現在の画面にとどまります。
- ・ 例外として、AI 検出が完了すると自動的に1回保存され、保存されたことを示す案内が画面下部に表示されます。それ以外の手動編集は自動保存されません。
- ・ ホーム画面の「最近のプロジェクト」一覧から、以前の作業を続けて行うことができます。
- ・ 名前を付けて保存、管理者によるプロジェクト共有に対応しています。

- 新規プロジェクト作成・新しい映像の読み込み時、AI/モザイク関連の設定は以前の値を引き継がず、常に初期値にリセットされます。

12. 体験版とライセンス

- 初回起動時、ライセンス案内ウィンドウから7日間の体験版を開始できます。体験版はPC(インストールID)ごとに1回のみ開始でき、削除して再インストールしても再開はされません。タイトルバーには残り期間が[体験版 (D-7)]のように表示されます。体験期間中は、AI 自動検出、すべてのマスキングフィルター・強度・形状・モード、既存の検出済みオブジェクトの選択・修正・削除を利用できます。新規手動オブジェクトの追加と書き出し(Export)は正式ライセンス専用です。
- 正式登録: ライセンス案内ウィンドウ、またはヘルプ > ライセンス情報/登録から、発行されたライセンスファイル(.lic)を選択して登録します。



- システムは署名とインストールIDを併せて検証します。別のPC用に発行されたライセンスは登録できません。
- 体験版の期限切れまたは未登録の状態では、新規プロジェクトの作成、既存プロジェクトの閲覧、映像ファイルを開く、AI検出、マスキング編集、新規手動オブジェクトの追加、書き出しが制限されます。ライセンス登録案内ウィンドウ、操作履歴(監査ログ)、バージョン情報画面は引き続き利用できます。すでに開いていたプロジェクトは期限切れ後も保存はできますが、新たに開いたり書き出したりすることはできません。プログラムを実行したまま体験期間が終了しても、再起動なしに1分以内に制限が適用され、既存の検出オブジェクトは削除されません。

参考 ライセンスはWEBGATEが別途発行・管理します。発行を依頼する際にはインストールIDが必要です。インストール中はインストールウィザードで、インストール後はヘルプ > ライセンス情報/登録でインストールIDを確認できます。

12-1. 自動アップデート確認

自動アップデート確認は正式(購入)ライセンスでのみ動作し、体験版ではヘルプ > アップデート確認メニューが無効化されます。

正式ライセンス使用時は、プログラムを実行するたびにサーバーで新しいバージョンを自動的に確認します。ネットワークまたはサーバーの確認に失敗しても、プログラムの使用には影響しません。

新しいバージョンがある場合、バージョン番号と更新内容を確認した上で、[ダウンロード]、[後で]、[このバージョンをスキップ]を選択できます。ダウンロードが完了すると、[インストール]ですぐにインストールするか、[フォルダを開く]でファイルの場所を確認できます。

インストールを選択すると、現在のプログラムが終了した後、新しいバージョンがインストールされ、自動的に再起動します。インストールファイルはダウンロード直後とインストール直前に整合性検証を受け、検証に失敗するとインストールされません。ヘルプ > アップデート確認を選択すると、自動確認の結果に関わらず、すぐに再確認できます。

13. 言語設定

- 対応言語: 韓国語 / 英語 / 日本語 / 中国語。
- ツール > 設定 > 言語で変更し、再起動後に適用されます。
- 保存された言語設定がない初回起動時、OS の言語が対応言語(英語/日本語/中国語)であればその言語で、対応していない場合は韓国語で表示されます。

14. 管理者機能(アカウント・操作履歴)



管理者(admin)アカウントでツール > 設定からアクセスします。

- ユーザー管理:
新規オペレーターアカウントの追加、権限変更(管理者⇄編集者)、無効化/再有効化、完全削除(プロジェクト・共有・書き出し・操作履歴などの利用履歴が全くないアカウントのみ可能 — 履歴がある場合は無効化のみ可)、パスワード変更(ポリシーは自動検証)。
- 自分自身のアカウントおよび最後に残った有効な管理者アカウントには、権限変更・無効化・削除を適用できません。管理者は最大3名、編集者は最大10名まで登録できます(無効化したアカウントを含む)。
- 操作履歴(audit_log):
ログイン・書き出し・アカウント変更など主要な操作履歴を閲覧・フィルタリング・CSVとして保存できます。

15. 推奨/最小動作環境

15-1 推奨仕様

長時間テスト(1時間分のCCTV映像、AI検出+書き出し)を安定して実行できる基準です。

項目	仕様
OS	Windows 11 64bit(Home/Pro/Enterprise問わず)
CPU	Intel Core i7-14700F(14コア)クラス
RAM	32GB
GPU	NVIDIA GeForce RTX 3050(6GB)クラス — DirectMLアクセラレーション確認済み
ストレージ	SSD、空き容量100GB以上

15-2 最小仕様

項目	最小仕様	備考
OS	Windows 10 64bit(1903以降) / Windows 11	一部UIは1903以降が前提
CPU	Intel Core i5 第8世代以上 / AMD Ryzen 5以上 (4コア8スレッド以上)	デコード・追跡はCPU負荷が大きく、 低スペックでは長時間映像で体感速度 の低下が大きい
RAM	16GB	検出間隔を短く設定すると、キーフレームが数万~10万単位に増加
GPU	DirectX 12対応GPU(内蔵グラフィックス含む)	なくてもCPUで動作。高スペックGPUは不要
ストレージ	SSD推奨、空き容量は元データの3倍以上	書き出し用一時ファイルと結果物が同時に存在する場合あり

参考 性能特性: 実際のボトルネックは映像デコード(CPU)とOptical Flow追跡(CPU)であり、GPUアクセラレーション(DirectML)は人物検出の推論のみに適用されるため、体感できる改善幅は大きくありません。そのため、GPUよりもCPUのコア数・クロック数が処理時間により大きく影響します。

15-3 処理時間の目安

以下は推奨仕様クラスのGPU PCで、1080p(FHD)映像を検出間隔5、ぼかしフィルターで処理した実測に基づくおおよその数値です。実際の時間は映像内の人数・解像度・コーデック・検出間隔によって大きく変わるため、計画用のおおよその目安としてのみ参考にしてください。

映像の長さ	AI検出(約)	書き出し(約)
1分	1~2分	1~2分
10分	14~16分	10~18分
(参考)1時間	1.5時間前後	1~2時間

- GPU がない PC(内蔵グラフィックス/仮想マシンなど)では、AI 検出に 2~3 倍の時間がかかります。
- 検出間隔を短くすると(例: 5→1)、検出フレーム数が増え、処理時間が比例して増加します。
- 書き出しのエンコードは CPU が行うため、CPU コア数が多いほど高速です(H.265 は H.264 よりやや遅い)。書き出し時間の幅が広いのはこのためです。
- 短い映像(1 分など)はモデル読み込みなどの固定オーバーヘッドの比重が大きく、倍率がやや高く出ることがあります。

参考 上記の数値は開発・検証過程での実測(15分・1時間の映像)を換算したものであり、特定の顧客 PCでの性能を保証するものではありません。正確な値が必要な場合は、該当PCで短いサンプルを使って直接測定することを推奨します。

16. トラブルシューティング

症状	確認・対処
ステータスバーに「AI検出準備完了」が表示されない / AI検出が無効	モデルの読み込みに失敗している可能性があります。以下の診断ログを確保のうえお問い合わせください。非ASCIIのアカウントパス・GPU非対応環境は自動的に処理されるよう改善済みです(v0.9.10.4/5/10)
AI検出時に人物がほとんど検出されない(リモートデスクトップ・内蔵GPU PC)	DirectML推論に問題がある環境の可能性があります。プログラムが参照画像で自動判定し、CPUに切り替えます(v0.9.10.10)。それでも問題が解決しない場合はログを確保のうえお問い合わせください
CCTVバックアップ映像が早送りで再生される	コンテナにフレームレートが誇張して記録されたファイルです。実際のフレームレートに自動補正されます(v0.9.10.6)
体験版の期限切れ後にAI検出をクリックした場合	進捗ウィンドウなしにライセンス登録案内が表示され、既存オブジェクトは保持されます(正常な動作です)

症状	確認・対処
バックアップファイル(.exe/.re4)を開くとパスワードを求められる	レコーダーでバックアップしたときに設定したパスワードを入力します。間違えた場合は再入力できます。パスワードは保存されないため、プロジェクトを開き直すときにも入力が必要です
バックアップファイルを開くと「対応していない暗号化方式」と表示される	レコーダーでパスワードなしで再度バックアップしてください

診断ログの場所: %ProgramData%\WEBGATE\MaskingStudio\MaskingStudio.log(AIモデルの読み込み失敗など原因調査の際に最優先で確保すべき対象)

17. よくある質問(FAQ)

Q. 検出対象(人物/顔)を選んで検出できますか？

A. 検出は常に人物+顔を一緒に行います。特定の対象だけを残したい場合は、検出後に[オブジェクト一覧]で個別のトラックをオフにしてください。

Q. 車両のナンバープレートも自動で隠されますか？

A. 現在のバージョンはナンバープレートの自動検出には対応していません。正式ライセンスでは手動オブジェクト追加で隠すことができ、体験版では新規手動オブジェクトの追加が制限されます。

Q. 特定の区間だけを検出するには？

A. タイムラインで不要な区間のクリップを切り取って削除すると、残った区間のみが検出されます。

Q. 元の映像の音声は結果映像にも含まれますか？

A. 元の映像に音声トラックがある場合、書き出した結果にも音声保持されます。元の映像に音声がない場合、または音声の結合に失敗した場合は、無音で保存されることがあります。

Q. 体験版でもウォーターマークのオン/オフはできますか？

A. ウォーターマークの設定自体は体験版でも選択できます。ただし体験版では書き出しが制限されているため、ウォーターマークを適用した結果ファイルを作成するには正式ライセンスの登録が必要です。

Q. ウォーターマークのロゴ画像が大きすぎる場合はどうなりますか？

A. 映像の横幅の1/6以下に自動的に縮小されて挿入されます。別途設定は不要です。

Q. ログインアカウントのパスワードを忘れました。

A. 他の管理者がユーザー管理からリセットできます。唯一の管理者アカウントを紛失した場合は、ログイン画面の「管理者パスワードの初期化」リンクから直接復旧できます(3.1節参照)。

Q. 別のPCで受け取ったライセンスを登録しましたが、うまくいきません。

A. ライセンスは発行対象PCのインストールIDに紐づいています(ハードウェアバインディング)。使用するPCのインストールIDで再発行が必要です。

Q. レコーダーのバックアップファイル(.exe)を直接読み込めますか?

A. はい。WEBGATE・S-1 レコーダーのバックアップファイル(.exe/.re4)を開くとチャンネル選択ウィンドウが表示され、選んだチャンネルを元の録画時刻のまま編集・書き出しできます(5-1参照)。

Q. 手動で描いたボックスを映像の最後まで保つには?

A. 最初の場面でボックスを描き、シークバーを映像の最後へ動かして[確定]を押すと、その範囲全体がマスキングされます(第8章参照)。

18. 付録: 対応フォーマット・ショートカット

対応フォーマット

区分	フォーマット
入力	MP4(H.264/H.265)、AVI、MKV、MOV、M4V、TS、WEBGATE・S-1 バックアップ(.exe/.re4)
出力	MP4(H.264)、MP4(H.265)、AVI、WEBGATE・S-1 バックアップ(.exe — バックアップファイルを開いている場合)

主なショートカット

機能	ショートカット
設定を開く	Ctrl+,
AI検出	F2
書き出し	Ctrl+E
元に戻す / やり直し(クリップ操作)	Ctrl+Z / Ctrl+Y
再生 / 一時停止	Space
前 / 次のフレーム	← / →

機能	ショートカット
ヘルプ	F1

お問い合わせ: WEBGATE担当者。本マニュアルは製品バージョンと同期されます。